

2024/6/13 輪読会

...

iGEM Grand Tokyo

私たちが目指していききたいEducationの活動とは



iGEM 2022 Best Education
INSA_Lyon1



iGEM 2021 Best Education
Vilnius-Lithuania



INSA_Lyon1(2022)

- 子どものためのサマーキャンプ
- Ebullisciences(現地の科学館とコラボ)
- 中学校・高校
- 大学内
- トランプゲーム
- コミックストリップ
- アンケート調査
- ソーシャルメディアでの教育

INSA_Lyon1(2022)

- 子どものためのサマーキャンプ 6～11歳
- Ebullisciences(現地の科学館とコラボ) 8～13歳
- 中学校・高校 中高生
- 大学内 大学生
- トランプゲーム
- コミックストリップ
- アンケート調査
- ソーシャルメディアでの教育

INSA_Lyon1(2022)

**サマーキャンプ、中高生に向けたワークショップ
→当時非常にはやっていたコロナウイルスの予防”手洗い”に
フォーカス。**

**「なぜ手を洗うのか」というテーマのもと、手洗い前後の細菌の
数の比較などが行われた。**

INSA_Lyon1(2022)

中学校、高校での企画

学校と共同で実施している「cordée de la réussite」という

プログラムを通じてこの企画を行った

→恵まれない環境の若者（孤立した農村地域に住んでいる学生など）の高等教育へのアクセスを促進する国家プログラム

INSA_Lyon1(2022)

その他

- ・大学の工学部内での発表**

→同世代に対する活動

- ・インターネット上でトランプゲーム、コミックなどを公開**

→幅広い人に触れてもらえる機会を作った

Vilnius-Lithuania(2021)

**合成生物学や、アメーバ赤痢に関する
対話を促進する、包括的なツールを作る事に重視**

また、科学と芸術の融合をテーマ

**サワードウ(現地のパンのようなもの)の材料からDNAを抽出する
実験**

その他、酵母、人間と微生物の関係に関する説明が行われた

Vilnius-Lithuania(2021)

実験教室での反省点

→提示した情報(実験の内容など)は分かりやすかったが、科学的な要素をもっと教えて欲しかった

学生たちがどれくらいまで理解できるかを予測し、主体的に参加できるEducation活動を

Vilnius-Lithuania(2021)

視覚を通じたアーティストとのコラボ企画

普段は目に見えないような微生物などをペトリ皿に入れて展示したほか、

- ・ 合成生物学の概念、この科学分野で微生物を使用する利点、応用例、倫理的問題を説明するポスター。**
- ・ サンプルの配列を解析した後に特定したいくつかの特定の微生物に関する情報。**

を掲示。

幼稚園児、児童、学生、科学分野の人々、芸術愛好家、歴史家、インフルエンサーなど、幅広い層へアプローチ

Vilnius-Lithuania(2021)

その他、アメーバ赤痢に関する知見を広げるためポスターを作製し、母国語や複数の国の言語に翻訳した

理想的なEducation活動とは？

- ・ そのタイミングに注目されている、必要とされている事をテーマとして扱う事。特に若年層は、楽しめるという事以外にも、身近な話題である事が重要にもなっているのではないか。
- ・ 単純に幅広い世代というだけでなく、マイノリティについても考えて教育の対象を定める事
- ・ 自国の文化に関連する企画が作れると、独自性も上がりそう
- ・ 一方的なものでなく、アイデアを出したり、ディスカッションも含める事。
- ・ ただ教育(教える)だけでなく、教育×○○というようにEducationの分野の固定概念をより広げていくこと